

## ELPH seminar

講師： 菅野 智則 氏

東北大学 埋蔵文化財調査室

日時： 10月20日（火） 15：00～16：30

場所： 電子光理学研究センター三神峯ホール

題目： 青葉山丘陵南辺部の遺跡群-芦ノ口遺跡とその周辺-

### [Abstract]

東北大学電子光理学研究センターのある場所は、芦ノ口遺跡として知られています。この遺跡の調査成果から、縄文・古墳時代に土器の素材となる粘土を採掘したり、平安時代には人が住んでいたことがわかっています。この場所は、先史時代以来、人々が何らかの活動をしていた地であると言えます。

そして、芦ノ口遺跡を含む三神峯の丘陵には、芦ノ口遺跡以外にも縄文から古墳時代の集落や、古墳時代から奈良時代の横穴墓、古代の窯跡等の様々な遺跡があります。さらに隣の丘陵や丘陵を下った低地部にも多種多様な遺跡が数多く確認されています。

今回の報告では、芦ノ口遺跡の調査成果と共に、その周辺の遺跡の事例等含め、青葉山丘陵南辺部における遺跡のあり方についてご紹介致します。なお、芦ノ口遺跡の出土品も多少展示・解説致しますので、是非ご覧頂ければと思います。

世話人：須田利美 (suda@lms.tohoku.ac.jp)